

2016 年度

アメリカコース留学報告書

実習先：ノースウェストミズーリ州立大学

実習期間：8月24日（水）～12月17日（土）

新潟国際情報大学
国際文化学科
学籍番号 21015034
串田冨佳

目次

1 留学先及び期間	3
2 留学先概要	3
3 留学目的	3
4 留学内容	4
4 - 1 留学内容のスケジュール	4
4 - 2 履修コースの詳細	4, 5
5 所感	6
6 反省・課題	6
謝辞	6

付録

アメリカの文化について	6, 7
-------------	------

1 留学先及び期間

留学先：ノースウェスト・ミズーリ州立大学

留学期間：平成 28 年 8 月 24 日（水）～平成 27 年 12 月 17 日（土）

※帰国は 12 月 18 日（日）

2 留学先概要

(1)大学について

ノースウェスト・ミズーリ州立大学は、ミズーリ州のメリービルに位置する数あるミズーリ州立大学群の内の一つである。メリービルは多く人口が約 11,000 人で、気温の変化が激しく夏は気温や湿度が比較的高い日が続く、また日没が遅く午後 8 時を過ぎてようやく外が暗くなっていくほどである。しかし冬は気温も湿度も極端に下がり寒い日は-20度を切るほどの寒さになる。本学は 1905 年に創立され、約 6,200 人の学生が学んでいて、文系から理系まで様々な分野の学部がある。特に **business management** は人気の専攻である。そして本学には多くの留学生在が学んでおり、インド人や韓国人などアジア圏出身の人も多くいる。またほぼ毎日様々なイベントが催され学部や宗教など関係なくまたコミュニケーションをとることができる。そして本学は「白」「緑」をスクールカラーとしており、**bobby the bearcat** というマスコットもいる。本学の全スポーツチームが **bearcats** というチーム名を使用していて特にアメリカンフットボールが近年強く、学校内にあるスタジアムで試合をして盛り上がりを見せている。サークルも数多くあり、漫画サークルなど日本の文化を楽しむサークルもある。

(2)大学で行われている教育について

本学は、質の高い教育を行っていることと、前述したように様々な国からやってきた多くの留學生を受け入れていることに特徴がある。今回お世話になる語学コースは、通称 **ESL** といい、英語を母語としない学生に英語の教育やアメリカの文化を学ぶことを目的として行われた。本学に入学して初めに **TOEIC** とスピーキングテストを行い、その結果を踏まえて 2 つのクラスに分かれて授業を行った。それにより、少人数で自分のレベルにあった学習をすることで、英語が苦手な人は基礎からしっかり学習することができる。

3 留学目的

今回の留学の目的は、英語力のさらなる向上とアメリカの文化を学ぶことを目的とする。日本にいても英語学習はできるが、英語を母国語としない日本での学習では学ぶのに英会話ができるまでのレベルに達するのは難しい。また、英語は凡庸性の高い言語であるため、国際的な視野を広げるためにも、英語圏であり経済面など様々な分野で最先端であるアメリカに留学することは、国際社会である現代を生きていくために必要なのだ。

4 留学内容

以下から留学の内容を記述する。

留学期間中に行った活動の詳細は付録に記載する。

4 - 1 留学のスケジュール

留学期間中のスケジュールは以下のとおりである。

8月24日 到着

25日 オリエンテーション Oral interview tests

26日 Oral interview tests キャンパスと図書館紹介

29日 ESL placement tests

30日 ESL 授業開始

31日 CP と対面

9月6日 FIS family と対面

8日 AB と対面

16日 ESL Field Trip

10月20日 Pumpkin Painting & Carving

22日 Cosmic Bowling

27日 ESL Field Trip to KC

28日 Internatinal Flag Raising

29日 Homecoming Parade

11月9日 International Thanksgiving Dinner

18日 TOEIC practice test

23日～28日 Thanksgiving FISfamily のお家で6日間お世話になる。

12月1日 Holiday Tree Lighting

Final test

16日 Graduation Party

18日 帰国

4 - 2 留学の詳細

スケジュールに記載してある各項目の内容は以下のとおりである。

i) Oral interview test と ESL placement tests

本大学での授業を開始する前に、レベル別に2つのクラスに分けるために行われたテストである。またこれらのテストは授業開始前の英語の文法や読解力そしてスピーキングとリスニングのレベルを知るために行われた。

ii)ESL の授業

授業内容は、**reading&writing, grammar, listening&speaking** が毎日の授業で行われ、週に 2 回 TOEIC の授業が行われた。また、週に 1 回アメリカの文化を学ぶ授業も行われた。

iii)CP と対面

CP とは 2 人の ESL の生徒に 1 人の **conversation partner** がついて週に 1 回決められたトピックについて会話をすることである。

iv)FIS family と対面

FIS family とは **Thanksgiving** の期間中にホームステイをさせていただくご家族のことである。

v)AB と対面

AB とは **Activity Buddy** のことで、だいたい ESL の生徒 1 人に **Activity Buddy** が 2 人ついて週に一度会って一緒にイベントに参加したり会話をしたりすることである。

vi)ESL Field Trip

これは、大学内には知らないアメリカの文化を知るべく、動物園や美術館、更に 11 月にはカンザスシティにも訪れた。

vii)International Flag Raising

このイベントは本学の生徒が自分の出身国の民族衣装を身にまとい旗を掲げて歩いた。

viii)Homecoming parade

卒業生などが集まり、コスチュームや着ぐるみを着たり、吹奏楽が演奏したり、ダンスしたりする大規模なパレード。

ix)Graduation Party

Final Test を終え、**Dr.Foot** から一人一人に修了証書が渡された。

5 当初目的・目標への達成度

今回の留学の目的の達成度について、それぞれまとめる。

i)TOEIC の点数をあげるなど確実に英語力を向上させる。

留学中に授業で数回受けた小テストや最初と最後に受けた TOEIC の結果から見ても明白なように確実にこの留学により英語力は向上されている。今後は、その結果に満足せずに勉強を継続して更にスキルアップする必要がある。

ii)異文化理解

この留学により、アメリカの文化だけでなく、様々な国から来た留学生とも交流し文化に触れることができた。文化の違いに最初は戸惑いもあったが、寮での生活や NUIS の生徒以外の ESL の人々と関わっていくうちに自然と理解していくようになった。

6 反省・課題

4 か月という短い期間ではあったが、とても貴重な期間だった。行かなければ味わうことや知ることのできなかつた体験が沢山出来た。

今回の留学で学んだことをこれで終わりにせず、今後も英語学習を継続し、国際的な問題にもっと積極的に興味を持って異文化に対して理解を深めていきたい。

謝辞

今回、ノースウェスト・ミズーリ州立大学で指導をしてくださった Dr, Foot、Mrs, Hardee、Mrs, K その他大勢の皆さま本当にありがとうございました。また、Thanksgiving の期間中にホームステイでお世話になりました FISfamily の皆さま本当にありがとうございました。そして、アメリカコース担当で指導してくださいました矢口裕子先生、藤本直生先生、小林伊織先生には心より感謝いたします。最後に、新潟国際情報大学からいただきました奨学金により、この留学に参加することができ、貴重な体験ができましたことを心から感謝いたします。

付録：アメリカの文化について

ここでは今回の留学を通して学んだアメリカの文化や生活が日本と異なっていた点についてあげてみる。

- ・トイレの個室に隙間が空いている。
- ・誰かがくしゃみをした時に“Bless you.”
- ・Thanksgiving や Christmas の飾りつけが盛大ですごい盛り上がりを見せる。

- 写真を撮るとき「ピース」しない。
- 鼻をすするといふ行為はマナー違反とされる。
- 酒は 21 歳から。公共スペースでの飲酒も禁止。(飲食店は OK)
- タバコは 18 歳から。日本と比べると少々高額で販売されている。
- 車は 16 歳から。日本と比べると低料金・短期間で取得が可能である。
- 信号機がある交差点では赤信号でも右折が可能である。 等。

実際に足を運んで訪れてみなければ知ることができなかった日本との違いが沢山見つかった。特に、**Thanksgiving** の期間中お世話になった **FIS family** の家庭では、**Thanksgiving** が終わった翌日から今度は **Christmas** のため家の庭にイルミネーションを取り付け、家じゅうを飾りつけし、家族そろって盛大に祝うところが日本と異なっていて興味深かった。